

事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 産業労働部

所属名 商業・市場開拓課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
ふくいの県産品マッチング機会創出支援事業	6 創業・新事業展開の推進	政策的経費	令和6年度	令和8年度	9,476	—	4,738		4,738	継続
県産品の商品開発・291によるセレクト事業	6 創業・新事業展開の推進	政策的経費	令和6年度	令和8年度	172,711	—	6,775		165,936	継続
福井県ビジネス支援センター運営事業	6 創業・新事業展開の推進	政策的経費・標準外経費	平成14年度	令和8年度	376,467	—		180,434	196,033	継続
福井県アンテナショップ管理委託者選定事業	6 創業・新事業展開の推進	政策的経費	令和8年度	令和8年度	123	—			123	継続
㊦消費者目線での商品開発支援事業	7 未来志向型の産業革新	政策的経費	令和8年度	令和8年度	1,855	—	927		928	—
新幹線開業後の課題解決に向けた投資応援事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和7年度	令和9年度	12,243	—	6,121		6,122	縮減
商店街等集客力向上支援事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和元年度	令和8年度	13,000	—	6,500		6,500	継続
「新福井方式」によるショッピングセンター支援事業	7 未来志向型の産業革新	政策的経費	令和6年度	令和8年度	2,000	—			2,000	縮減
商店街への新幹線開業効果波及事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和6年度	令和8年度	41,462	—			41,462	継続
インバウンドによる地域消費拡大推進事業	9 北陸新幹線開業効果を最大化・持続化	政策的経費	令和2年度	令和8年度	3,740	—	1,870		1,870	縮減
官民連携による「県都まちなか再生ファンド」活用事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和4年度	令和8年度	220,000	—	37,570	182,430		継続
官民連携による「敦賀市まちづくりファンド」活用事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和4年度	令和8年度	70,000	—	35,000	35,000		継続
福井駅周辺商業エリアにおける観光消費拡大事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和6年度	令和8年度	38,918	—	19,459		19,459	継続
ふくいまちなかクリエイターズステーション開設事業	6 創業・新事業展開の促進	政策的経費	令和6年度	令和8年度	11,656	—			11,656	縮減
海外経済交流促進支援事業	8 世界のふくいファンを拡大	政策的経費	平成6年度	令和8年度	1,200	—			1,200	継続
㊦越前ものづくりの里プロジェクト	7 未来志向型の産業革新	政策的経費	平成26年	令和8年度	35,617	—			35,617	拡充
産業観光ビジネス支援事業	7 未来志向型の産業革新	政策的経費	令和2年度	令和10年度	14,073	—			14,073	縮減
伝統工芸産地コーディネート推進事業	7 未来志向型の産業革新	政策的経費	令和5年度	令和10年度	12,293	—			12,293	縮減
伝統工芸品販売ブースアップ事業	7 未来志向型の産業革新	政策的経費	令和5年度	令和10年度	10,000	—			10,000	継続
住宅への伝産品利用促進事業	7 未来志向型の産業革新	政策的経費	平成26年	令和10年度	3,515	—			3,515	継続
㊦サンドーム福井大規模修繕事業	7 未来志向型の産業革新	政策的経費	令和8年度	令和10年度	139,972	—		122,000	17,972	拡充
海外展示会出展支援事業	8 世界のふくいファンを拡大	政策的経費	令和5年度	令和7年度		—				完了

事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 産業労働部

所属名 商業・市場開拓課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
海外販路開拓事業	8 世界のふくいファンを拡大	政策的経費	令和7年度	令和7年度		—				完了
越前焼・越前陶芸村魅力向上プロジェクト	7 未来志向型の産業革新	政策的経費	令和7年度	令和7年度		—				完了
ふくいの伝統工芸産地魅せる化実現事業	7 未来志向型の産業革新	政策的経費	令和7年度	令和7年度		—				完了
					1,190,321		118,960	519,864	551,497	

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和8年度
II 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
6 創業・新事業展開の推進				事業開始年度	令和6年度
ふくいの県産品マッチング機会創出支援事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	北陸新幹線の福井・敦賀間開業を契機に、食品や生活雑貨等の県産品を製造する県内中小事業者は、販売先や商談機会のさらなる拡大に向けて、新たな販売先や商談機会を求めているため、県内事業者と県内外の流通業者等のマッチング機会を創出することで販路拡大を支援する。				
事業内容	(1) 展示会への出展支援（年1回） 東京インターナショナル ギフト・ショー LIFE×DESIGN展（9月） 支援企業：12社 企業負担：展示台大（8社）22万円、展示台小（4社）11万円 (2) 個別商談会の開催（年3回） 百貨店等の県外流通業者との商談会（対面およびWEB）を開催 支援企業：90社（30社×3回）				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	9,476	－	4,738		4,738
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	商談成立事業者数	50		令和7年度
	活動指標	支援事業者数	114	55	令和7年度
事業評価	令和7年度は、スーパーマーケット・トレードショーへの出展支援が無くなったため、支援事業者数が減少した。 ・成果指標については、R8.3月末以降確定予定 令和6年度 商談成立事業者数 47社 支援事業者数 69社				
区分	継続				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和8年度
II 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
6 創業・新事業展開の推進				事業開始年度	令和6年度
県産品の商品開発・291によるセレクト事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	ふくい南青山291において県内の企業・グループ等が商品開発にチャレンジし、ブランドとして育て、売り上げ拡大につなげるため、首都圏のクリエイター等を活用し、デザインの力を取り入れた商品開発を支援するとともに、291として商品をセレクトし、首都圏での販売力を活かして県内事業者の成長を図る。				
事業内容	<p>(1) 新商品開発支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏の事業者と県内の事業者が協働し、首都圏に向けた販路拡大を目指す商品開発を支援 ・商品開発を目指す事業者に対しセミナー・ワークショップを開催し、商品開発を促進 <p>(2) 291による商品セレクト・ブラッシュアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏に向けた販路拡大が見込め、福井の魅力を発信できる商品を、291セレクト商品として選定 <p>(3) 291セレクト商品の販路開拓支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏の大型商業施設等で実施する「福井フェア」特設ブースを通して販売とPR ・スーパー・百貨店等での県産品のテスト販売支援 ・首都圏で行われる展示会や販売会への出展 ・市町の出向宣伝・首都圏進出のための市町出張アンテナショップ ・都内セレクトショップと連携したインバウンド観光客への販売及び誘客支援 ・海外出展を契機とした伝統工芸品の海外市場獲得強化 				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	172,711	—	6,775		165,936
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	開発された新商品の売上額（千円）	100,000		令和7年度
	活動指標	商品開発促進イベント実施回数	4	4	令和7年度
事業評価	<p>令和6年度中の新商品売上額：108,130千円（R7.2月末時点） 令和7年度中の新商品売上額：106,337千円（R8.2月末時点） ・成果指標については、R8.3月末以降確定予定</p> <p>令和6年度に開発した51プロジェクト、81商品を販売し、1年間で1億円以上の売上を達成</p>				
区分	継続				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和 8年度															
II 成長を創る（産業力）			経費区分		政策的経費・標準外経費															
6 創業・新事業展開の推進			事業開始年度		平成14年度															
福井県ビジネス支援センター運営事業			事業終了年度		令和 8年度															
事業目的	東京南青山の県有地に民間事業者が建設する建物を借り受け、南青山拠点において、県内企業の新たなビジネス展開支援と食によるブランド発信拠点として事業展開するとともに、銀座に立地する民間事業者が所有する建物を借り受け、銀座拠点において、本県の魅力ある県産品や観光移住情報発信等を行う。																			
事業内容	<p>(1) 県有地の貸付と建物の借受 東急不動産(株)に対し、東京・南青山の県有地を事業用借地権により貸し付け、当該地に東急不動産が建設する建物の一部をビジネス支援拠点施設として借り受ける。 ①土地 面積：1996.70㎡ 契約期間：令和3年10月16日～令和15年3月31日 ②建物 面積：998.41㎡ 契約期間：令和3年8月16日～令和14年9月30日</p> <p>(2) 銀座拠点における建物の借受 面積：367.16㎡ 契約期間：令和4年2月1日～令和14年9月30日</p> <p>(3) 福井県ビジネス支援センター運営業務の委託 (4) 首都圏 販路開拓・情報発信アドバイザーの雇用 首都圏における本県の物産、観光等の販路拡大や情報発信を強化するため、首都圏のメディアや経済人に幅広いネットワークを有する職員をアドバイザーに委嘱する。</p>																			
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源															
	376,467	－		180,434	196,033															
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考															
	成果指標	売上額（千円）	500,000		令和7年度															
	活動指標	来館者数（人数）	560,000		令和7年度															
事業評価	<p>2月末の時点で、売上は昨対100%を達成。来館者数も昨対100%を達成する見込み。リピート客獲得に向けて飽きさせない店舗づくりに力を入れたほか、メディア効果で新規顧客も獲得し、今年度は売上・来館者数ともに昨年度よりも大きく伸びた。</p> <table border="0"> <tr> <td>令和7年度</td> <td>令和7年度2月末時点</td> <td>見込み値（R8.3月末以降確定予定）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>売上額 492,035千円</td> <td>売上額 520,000千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>来館者数 562,408人</td> <td>来館者数 610,000人</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>売上額 489,478千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>来館者数 563,579人</td> <td></td> </tr> </table>					令和7年度	令和7年度2月末時点	見込み値（R8.3月末以降確定予定）		売上額 492,035千円	売上額 520,000千円		来館者数 562,408人	来館者数 610,000人	令和6年度	売上額 489,478千円			来館者数 563,579人	
令和7年度	令和7年度2月末時点	見込み値（R8.3月末以降確定予定）																		
	売上額 492,035千円	売上額 520,000千円																		
	来館者数 562,408人	来館者数 610,000人																		
令和6年度	売上額 489,478千円																			
	来館者数 563,579人																			
区分	継続																			

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和8年度
II 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
6 創業・新事業展開の推進				事業開始年度	令和8年度
福井県アンテナショップ管理委託者選定事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	ふくい南青山291および食の国291の管理運営業務委託契約が令和9年3月31日をもって現受託者との契約期間満了を迎えることから、令和9年度以降のアンテナショップ管理運営業務の受託者を選定する。				
事業内容	公募型プロポーザルの開催				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	123	－			123
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	－	－	－	令和9年度以降のアンテナショップの事業者を決定する事業であるため、成果指標になじまない
	活動指標	－	－	－	令和9年度以降のアンテナショップの事業者を決定する事業であるため、活動指標になじまない
事業評価					
区分	継続				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和 8年度
II 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
7 未来志向型の産業革新				事業開始年度	令和8年度
⑧ 消費者目線での商品開発支援事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	県内事業者の中で、これまでの勘と経験に頼る経営者が多いことが課題として上げられていることから、商品開発を契機として、気軽に市場調査を行える機会や、ショッピングセンターでのテストマーケティングの機会を提供する事により、一般消費者の意見や反応を重視する「マーケットイン思考」を企業に根付かせる。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBアンケート機能を活用した市場調査支援 ・ショッピングセンター内でのテスト販売 ・県内の専門機関・デザイナー等による助言 				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,855	－	927		928
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	実際に販売された商品数	5		令和8年度
	活動指標	アンケート回答件数	1,000		令和8年度
事業評価					
区分	－				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和8年度
Ⅲ 楽しみを広げる(創造力)				経費区分	政策的経費
10 交流を広げる基盤整備				事業開始年度	令和7年度
新幹線開業後の課題解決に向けた投資応援事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	県下全域に新幹線開業効果を波及させ、その効果を維持・最大化するために、売上が落ち込んでいる店舗に対して、観光客受入れにかかる課題を解決するための店舗改装・設備導入に対する投資への支援を行う。				
事業内容	観光客受入れにかかる課題解決に向けた投資への支援 実施主体 : 県内に本社を置く中小企業者等 補助対象事業費 : 事業用建物の増改築費、設備導入費、工具・器具・備品費 補助率 : 県1/3 補助上限額 : 1,500千円 支援件数 : 8件				
予算・決算額 (単位:千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	12,243	-	6,121		6,122
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	店舗改装等による売上額伸び率	10%増加		令和7年度
	活動指標	支援事業者数	10件	3件	令和7年度
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> 申請者が当初の想定よりも少なく、事業の周知に課題が残った。 令和8年度は、補助金の周知方法を改善し、当補助事業を必要としている県内事業者に行きわたるよう対応していく。 成果指標は令和9年3月頃確定予定 				
区分	縮減				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和8年度
Ⅲ 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
10 交流を広げる基盤整備				事業開始年度	令和元年度
商店街等集客力向上支援事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	北陸新幹線福井・敦賀開業効果の維持・拡大に向けて、増加する県内外および外国人の観光客、地域住民や高齢者の商店街等への来街を促進し、商店街等が有する公共的機能、買物機能の維持、強化を図るため、必要な整備を支援する。				
事業内容	<p>新幹線開業効果最大化支援事業 北陸新幹線福井・敦賀開業効果を最大限に高めるため、県外および外国人観光客の、来街促進と消費拡大を目的に官民連携して策定されたまちづくり計画において位置づけられた事業について支援を行う。</p> <p>実施主体：まちづくり会社 県補助額：13,000千円 補助率：県1/2、市町1/2（市への間接補助） 補助対象事業：PR販促グッズ、共通デザインの看板作成等</p>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	13,000	－	6,500		6,500
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	支援した商店街等の通行量（人/日）	1,000	933	令和7年度
	活動指標	環境整備等に取り組む商店街等の数	1	1	令和7年度
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> 支援対象商店街（敦賀市）の通行量については、新幹線開業前の令和5年度と比較し、大幅に増加しているものの、成果目標には届かなかった。 引き続き、市が進めるまちづくり計画と連携した商店街の取組みへの支援を実施することで商店街のにぎわい創出を図る。 				
区分	継続				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和 8年度
II 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
7 未来志向型の産業革新				事業開始年度	令和6年度
「新福井方式」によるショッピングセンター支援事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	コロナ禍による生活様式の変容（ネットショッピングの増加）や物価高騰による利益減少、さらに施設の老朽化など、ショッピングセンター（SC）を取り巻く環境が悪化しているなか、地元商業者が運営する県内のSCが今後も地域から必要とされ、県民の消費活動やコミュニティ活動を支える場所として維持・拡大を図るための支援を行う。				
事業内容	(1) 共通組織によるリーシング事業支援 実施主体：福井県共同店舗協同組合連合会 補助率：1/2、補助上限：2,000千円 (2) 地元商業者活性化のためのフロアづくり支援 実施主体：県内中小企業者からなる組合、または県内中小企業等が運営するSC 補助率：1/3 補助上限：50,000千円 (3) 研究会開催				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,000	-			2,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	新規出店テナント数	3	4	令和7年度
	活動指標	リニューアル実施SC数	1	1	令和7年度
事業評価	・地元商業者活性化のためのフロアづくり支援によりショッピングセンター1店舗のリニューアルを支援し、成果指標の新規出店テナント数の目標を達成した。 <事業実績> 共通組織によるリーシング事業支援：1件（福井県共同店舗協同組合連合会） 地元商業者活性化のためのフロアづくり支援：1施設 「ショッピングセンターの今後のあり方に関する研究会」：5回開催				
区分	縮減				

	産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和 8年度	
Ⅲ 楽しみを広げる（創造力）			経費区分	政策的経費	
10 交流を広げる基盤整備			事業開始年度	令和6年度	
商店街への新幹線開業効果波及事業			事業終了年度	令和8年度	
事業目的	新幹線開業の盛り上がりを直ちに全県に波及するため、市町とともに新幹線時代を踏まえた商店街等の成長計画の策定を支援するとともに、商店街等の要望に応じ、緊急対策として消費喚起支援等を実施する。				
事業内容	商店街成長計画策定支援事業 商店街成長計画策定支援事業において策定した計画を県・市町で審査し、認定された事業に対して支援 事業主体 : 県内商店街、まちづくり会社等 補助上限額 : 18,000千円(2年間、県負担分 9,000千円) 補助率 : 県1/2以内、市町1/2以内(市町を通じた間接補助) 補助想定件数: 11件				
予算・決算額 (単位:千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	41,462	-			41,462
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	補助を行った商店街の平均人流増加率(%)	2		令和7年度
	活動指標	補助実施件数(件)	11		令和7年度
事業評価	・昨年度作成した各商店街の成長計画に基づき、販促グループの結成・商店街マップの作製、新店舗開業支援やまちなかイベントと連携した販促などへの支援を実施し、商店街の賑わい創出等につながった。 ・成果指標については、R8.3月末以降確定予定 ・活動指標については、R8.3月末以降確定予定				
区分	継続				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和 8年度
Ⅲ 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線開業効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和 2年度
インバウンドによる地域消費拡大推進事業				事業終了年度	令和 8年度
事業目的	インバウンド向けWEBサイトにより個々の飲食店では対応が難しい商品・サービスの多言語化等を進め、北陸新幹線福井・敦賀開業効果の拡大、大阪万博の開催や新型コロナウイルス感染症からの回復を見据えた外国人観光客等による地域での消費拡大を図る。				
事業内容	○WEBサイトの維持・継続 サイトの安定稼働により満足度の向上を図る				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,740	－	1,870		1,870
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	アプリ（サイト）参加店舗	270	270	令和7年度
	活動指標	アプリ（サイト）参加市町	5	5	令和7年度
事業評価	令和7年度の参加店舗は前年と変わらなかったものの、広報については、これまでのサイトへのアクセス解析に基づき、より効果的な媒体に絞り込んだことで、アクセス増加につながったものと評価している。				
区分	縮減				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和 8年度
Ⅲ 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
10 交流を広げる基盤整備				事業開始年度	令和4年度
官民連携による「県都まちなか再生ファンド」活用事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	県・福井市・福井商工会議所が参画する「県都にぎわい創生協議会」において、福井駅周辺のまちづくりのランドデザインが策定され、福井駅周辺のテナント・マネジメントを強化し、空きビル対策やリノベーション推進、街並みの向上を図るなど、北陸新幹線福井開業に向けた受入態勢づくりを進めていく。				
事業内容	<p>北陸新幹線福井・敦賀開業効果の維持・拡大に向けて福井県の玄関口である福井駅中心市街地を魅力あるものにし、県外観光客が何度も訪れたいまちにするため、造成した「県都まちなか再生ファンド」を活用し、外観のリノベーションや、「県都ランドデザイン」の目的に合った店舗を誘致するために必要な支援を行う。</p> <p>（基金の概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基金総額 24億円（県12億円、福井市12億円） ※基金は取崩型とし、別途、金融機関が事業者へ協調して融資 ・基金設置 県都まちなか再生ファンド運営委員会（県、市、学識経験者、金融機関等で構成、負担金として支出） ・支援対象 「県都ランドデザイン」に基づき、福井市中央1丁目および3丁目等の店舗所有者等が実施する商業ビル等の改修・高度利用の推進、民間再開発の実施、店舗のリノベーションなど 				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	220,000	－	37,570	182,430	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	改修等支援件数	15		令和7年度
	活動指標	改修等相談件数	30		令和7年度
事業評価	<p>改修等支援件数：18件（令和7年度2月末時点） 改修等相談件数：100件（令和7年度2月末時点） 令和7年度の実績については、R8.3月末以降確定予定</p> <p>店舗のリノベーション支援 15件 電車通り南側支援 2件 新栄商店街ミニ再開発支援 1件 改修等にかかる相談件数は昨年度に引き続き多くあり、令和7年度の実績は事業開始後最多となった。</p>				
区分	継続				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和8年度
Ⅲ 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
10 交流を広げる基盤整備				事業開始年度	令和4年度
官民連携による「敦賀市まちづくりファンド」活用事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	<p>県・敦賀市・敦賀商工会議所が参画する「金ヶ崎周辺魅力づくり協議会」において、敦賀市中心市街地のまちづくりのデザイン計画策定を進めており、その中間報告に基づき、敦賀市中心市街地のテナント・マネジメントを強化し、空きビル対策やリノベーション推進、街並みの向上を図るなど、北陸新幹線福井開業に向けた受入態勢づくりを進めていく。</p>				
事業内容	<p>北陸新幹線敦賀開業に向け、敦賀市中心部を賑わいのあるものとし、観光客を呼び込む核となるエリアのビルの改修や景観整備、リノベーションを進めるため、県・市でそれぞれ積み立てた基金で支援を行う。 （基金の概要） 基金総額 9億円（県4億円、敦賀市5億円） ※地域振興基金に積み立て、敦賀商工会議所に負担金として支出 （支援対象） 敦賀市の観光の中核となる敦賀駅前エリア、気比神宮エリア、敦賀港周辺エリアを連結する5つの商店街（駅前商店街、本町1・2丁目商店街、神楽町商店街、相生町・博物館通り商店街）の店舗所有者等が実施する商業ビル等の改修・高度利用の推進、景観整備、店舗のリノベーションなど</p>				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	70,000	－	35,000	35,000	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	改修等支援件数	8		令和7年度
	活動指標	改修等相談件数	16		令和7年度
事業評価	<p>改修等にかかる相談件数は非常に多く、事業者からの関心が高い状況が続いており、成果指標の改修等支援件数の目標を大きく超え達成した。 改修等支援件数：17件（令和7年度2月末時点） 改修等相談件数：34件（令和7年度2月末時点） 令和7年度の実績については、R8.3月末以降確定予定</p>				
区分	継続				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和 8年度
Ⅲ 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
10 交流を広げる基盤整備				事業開始年度	令和6年度
福井駅周辺商業エリアにおける観光消費拡大事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	北陸新幹線福井・敦賀開業効果を全県的に波及させるために、県内最大の乗降客数となる福井駅周辺において、観光客が駅周辺で購入することができない「押し」のグルメ、酒、工芸、福井ゆかりのコンテンツを展示・販売し、県内事業者の売上を増加させる。				
事業内容	観光消費拡大イベントの開催 ・県、各市町による季節にあわせた「押し」グルメ、福井ゆかりのコンテンツをテーマにした催事を西武福井店にて開催（駅周辺で購入できない奥越、嶺南の商品など） ・物販のほか、飲食ブースを設置し県内の人気飲食店のグルメや福井の食材を使った料理を提供				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	38,918	－	19,459		19,459
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	展示・販売会売上	46,200		令和7年度
	活動指標	出店者数	70	48	令和7年度
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> 活動指標については、観光消費拡大イベントの2回目は、目標としていた出店者数を概ね達成することができたが、1回目は2回目と比べて準備期間が短く、小規模になってしまったことにより、目標を下回る結果となった。 成果指標については、R8.3月末以降確定予定 				
区分	継続				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和 8年度			
II 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費			
6 創業・新事業展開の促進				事業開始年度	令和6年度			
ふくいまちなかクリエイターズステーション開設事業				事業終了年度	令和8年度			
事業目的	デザイナーをはじめとするクリエイター、事業者、県民が気軽に交流し、デザインに触れてもらえる拠点をまちなかに設けることにより、人材の育成や掘り起しを行い、多様な社会のニーズに対応できるデザイン・クリエイティブ人材を確保するとともに、デザインの価値創出を促進する。							
事業内容	<p>(1) デザインセンターふくい（ふくい産業支援センター）によるクリエイティブ人材掘り起こし活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインセンターふくいの職員がコーディネーターとともに、デザイン事務所やクリエイティブに興味のある企業等を訪問し、人材掘り起こし活動を行う。 ・デザイン相談のうち、具体的なビジネスマッチング等、ビジネスに繋がる案件に関する相談対応を行う。 <p>(2) 「ふくいクリエイティブホーム クリーム」における窓口管理・相談業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内クリエイターが気軽に集まり交流できる拠点をまちなか（福井駅周辺）に開設し、クリエイター間でのワークシェアリングや若手クリエイターの育成を推進するとともに、デザインに関する相談窓口を設ける（コーディネーターを配置） <p>(3) クリエイティブ人材育成やデザイン啓発のためのイベント開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかを拠点に「一般社団法人 福井県クリエイター協会」と協働してクリエイターのためのセミナーや交流会を開催 ・子どもやデザインに興味のある県民等、幅広い世代がデザインに親しむことができるイベントを開催 <p>実施主体：(1) 公益財団法人 ふくい産業支援センター (2) (3) 一般社団法人 福井県クリエイター協会</p>							
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	11,656	決算額	—	国庫	その他特定財源	一般財源	11,656
	内 容		目標	実績	備考			
事業評価指標	成果指標	振興拠点の利用者数	1000		令和7年度			
	活動指標	イベントの開催件数	12	12	令和7年度			
事業評価	<p>様々な業種の方がブランディングやまちおこしなど様々な目的で振興拠点を利用、イベント回数についても12回開催しており、成果指標・活動指標ともに目標を達成する見込み。</p> <p><事業実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・振興拠点の利用者数968名（1月末時点） 令和7年度の実績については、R8.4月確定予定 ・イベント開催12回（スクーリング11回、企画展1回） 							
区分	縮減							

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和 8年度
II 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
8 世界のふくいファンを拡大				事業開始年度	平成6年度
海外経済交流促進支援事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	県内企業にとって中国は依然として重要な国である一方、広く海外への展開を進めることがビジネスの安定と拡大において重要になっている。そこで、海外経済交流を支援することにより、中国浙江省との多面的な交流を強化するとともに、中国を含むアジアをはじめとした海外市場でのビジネス展開の促進を図る。				
事業内容	福井県・浙江省経済交流促進機構の事務局である福井商工会議所が実施する以下の取組みに対する補助 (1) 浙江省との交流強化 ・浙江省との間での代表団等の派遣・受入 ・友好提携および機構成立周年記念行事の開催 (2) 海外ビジネス展開促進 ・アジアをはじめとした海外市場に関するセミナー、現地視察ミッション等の開催				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,200	－			1,200
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	視察・相互交流件数（件）	6	1	令和7年度
	活動指標	セミナー開催件数（件）	5	1	令和7年度
事業評価	視察・相互交流については、情勢等も踏まえた調整を要し、目標達成には至らなかった。 <事業実績> 台湾グリーンビジネス視察：1回 米中関係と経済に関するセミナー：1回				
区分	継続				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和 8年度
II 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
7 未来志向型の産業革新				事業開始年度	平成26年
㊦ 越前ものづくりの里プロジェクト				事業終了年度	令和 8年度
事業目的	伝統工芸産地（越前漆器、越前和紙、越前打刃物、越前焼、越前筆筥）が丹南地域に集積している本県の特徴を活かし、現場の意見を取り入れた、「攻め」の後継者育成、魅力発信を行うことにより、伝統工芸の新たな価値を高める。				
事業内容	<p>（1）伝統工芸職人塾 工芸分野に携わりたい若者等が、技能に加え、魅力ある商品づくり、デザインや経営的な視点を学べる「職人塾」を開設</p> <p>（2）創業支援事業 伝統的工芸品の製造に従事する者が創業する際に必要な経費を一部支援</p> <p>（3）伝統工芸人材育成事業 伝統工芸職人塾を卒業した職人や中堅職人のモチベーションを向上するため、産地活性化のノウハウを習得できるセミナーやコンペティションを開催</p> <p>（4）伝統工芸産地連携事業 丹南5産地が連携して、意欲的な産地組合や現場の若手職人・クリエイター等が協働で販路開拓や産業観光のための取り組みを実施し、産地全体の魅力・地域ブランド力を高める ・首都圏や新幹線沿線周辺地域等でのPRイベント開催 ・県内の産業観光イベントでの運営支援 等</p> <p>（5）伝統工芸販路開拓事業 伝統工芸のブランド力向上に向けた1つのポイントとして食と結び付けた販路開拓を行う。 県内の飲食店で伝統工芸品を導入し、産地振興に賛同する事業者を後押しするため、購入のための補助金を設ける ・実施主体：県内飲食店 ・対象経費：飲食店で使用する伝統工芸品の購入費 ・補助率：県1／3、市町1／3</p>				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	35,617	－			35,617
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	伝統工芸職人塾修了生の 県内定着率（％）	90		令和7年度
	活動指標	伝統工芸職人塾長期塾生数 累計（人）※延べ人数	170	197	令和7年度
事業評価	<p>職人塾修了生の県内定着率について、成果指標を達成する見込み。 R7年度の職人塾長期塾生数は13名で累計197名となり、活動指標についても目標を達成した。 ＜事業実績＞ R7年度伝統工芸職人塾長期塾生数13名（累計197名） うち、R7年度の修了生は8名（見込） 成果指標については、R8.4月確定予定</p>				
区分	拡充				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和 8年度
II 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
7 未来志向型の産業革新				事業開始年度	令和2年度
産業観光ビジネス支援事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた産業観光ビジネスモデル構築のため、デザイナー等の専門家の監修による見学・体験メニュー等の開発に挑戦する企業を支援する。				
事業内容	<p>体験メニュー開発等に取り組む伝統工芸関連企業への支援</p> <p>事業内容：企業の工場見学や体験メニュー開発等の経費を助成</p> <p>(1) スポット店舗 デザイナー等の専門家の監修による見学・体験メニュー等の開発、情報発信</p> <p>(2) HUB拠点 上記に加え、営業・PR等に対応するスタッフの配置等</p> <p>補助対象：主として伝統工芸品等の製造・販売に携わる県内中小企業（企業集団）、産地組合等</p> <p>補助率：2/3</p> <p>補助上限額：(1) スポット店舗 3,000千円/件 (2) HUB拠点 5,000千円/件</p>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	14,073	－			14,073
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	伝統工芸産地の入込数（延べ）	47万人		令和7年度
	活動指標	支援件数（件）	5	5	令和7年度
事業評価	<p>スポット店舗：4件 HUB拠点：1件（令和年度1月末時点）</p> <p>支援件数の目標達成</p> <p>越前漆器、越前箆笥、若狭塗、若狭和紙と様々なジャンルの製造業者を支援</p> <p>成果指標については、R8.4月確定予定</p>				
区分	縮減				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和 8年度
II 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
7 未来志向型の産業革新				事業開始年度	令和5年度
伝統工芸産地コーディネート推進事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	新幹線開業に合わせ、伝統工芸産地の産業観光を通年型のコンテンツとして展開できるよう、産地をまたいだ大規模な仕掛けづくりを民間事業者とともに実施する。				
事業内容	(1) 産業観光受入体制づくり 産業観光専門ガイドや販売員など外部人材の育成・活用 観光客のニーズに合った体験メニューを創設するため、産業観光に詳しい立場からの内容の提案 モニターツアーの実施による内容のブラッシュアップ (2) 体験メニューや産業観光のプランの発信 個社の取組をまとめた一元的な情報源を構築 産地間を周遊するツアーを醸成し、観光客にとって魅力的なプランを提示				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	12,293	－			12,293
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	伝統工芸産地の入込数（延べ）	47万人		令和7年度
	活動指標	産業観光コンテンツ数	4		令和7年度
事業評価	伝統工芸産地での工房見学や制作体験等の観光コンテンツを新たに5件造成するとともに、旅行事業者を対象にしたファムツアーを2回実施、また首都圏での商談会に参加しPRを行うなど、産地への送客を促した。 産業観光コンテンツ数：5（令和7年度1月末時点） 成果指標については、R8.4月確定予定 活動指標については、R8.3月末以降確定予定				
区分	縮減				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和 8年度
II 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
7 未来志向型の産業革新				事業開始年度	令和5年度
伝統工芸品販売ブースアップ事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	首都圏等での展示会や個展等による県内伝統工芸品の売り込みを行い販路開拓、産業観光に繋げる。また、リニューアルしたふくい食の國291や南青山のコワーキングスペースを首都圏での販路開拓の拠点として活用する。				
事業内容	展示会・個展・販売会の開催支援・伝統工芸に関わる個人作家などが福井駅前、軽井沢等の各新幹線駅前、関西圏、観光地、食の國291や南青山のコワーキングスペースなどで展示会、個展、販売会等を開催する際の経費を補助する 補助対象 県内伝統工芸の企画・製造事業者 補助率 3/4 補助上限額 500千円				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	10,000	—			10,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	支援事業者の売上上昇数（社）	20		令和7年度
	活動指標	支援件数（件）	20	24	令和7年度
事業評価	令和7年度支援件数 24件 補助金開始から3年が経過し、認知度が高まり、活動指標の支援家数を目標通り達成。 売上増加につながるよう継続的に支援を行う。 成果指標については、R8.4月確定予定				
区分	継続				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和 8年度
II 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
7 未来志向型の産業革新				事業開始年度	平成26年
住宅への伝産品利用促進事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	住宅の新築時や、リフォーム時に越前瓦や越前和紙を使用する場合に、導入経費の一部を助成し、低迷している福井固有の地場製品の需要の拡大を図る。				
事業内容	「越前瓦」・「越前和紙」の需要拡大支援 ①新築・リフォーム時の越前瓦・越前和紙の使用支援 県産材活用課が実施している「県産材を活用したふくいの住まい支援事業」の対象者が、屋根材に越前瓦を、襖紙や壁紙に越前和紙を使用する場合、導入経費の一部を助成（上限各10万円） ②確認業務委託 施工現場確認等の業務を福井県建築組合連合会・福井県木材組合連合会に委託				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,515	－			3,515
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	生産額	30億円		令和7年度
	活動指標	補助件数	35		令和7年度
事業評価	越前瓦22件、越前和紙20件 計42件（令和7年度1月末時点） 令和7年度は和紙の需要が高く、6月時点で想定件数の15件に到達した 成果指標については、R8.4月確定予定 活動指標については、R8.3月末以降確定予定				
区分	継続				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和 8年度
II 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
7 未来志向型の産業革新				事業開始年度	令和8年度
㊦ サンドーム福井大規模修繕事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	サンドーム福井は開館以降、展示会や産業フェア、音楽コンサートなど様々なイベントで利活用されるほか、災害時の広域物流拠点にも指定され、施設として重要な役割をはたしている。平成7年の開館から30年が経過し、施設や設備の老朽化による不具合が生じているため、施設の機能を維持するだけでなく、来館者の安全確保や非常時に安全な避難を支援する設備について修繕する。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備更新工事（R8～R9債務負担） ・外壁補修工事 設計 ・非常用発電設備更新工事 設計 ・水道メータ更新 ・移動観覧席修繕 ・消防設備修繕 ・外部歩行者通路工事 				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	139,972	－		122,000	17,972
事業評価指標		内 容	目標	実績	備考
	成果指標	－	－	－	サンドーム福井の設備更新にかかる事業であるため、成果指標になじまない
	活動指標	－	－	－	サンドーム福井の設備更新にかかる事業であるため、活動指標になじまない
事業評価	令和7年度は下記の修繕を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・消火設備ガス圧ダンパー修繕 ・冷温水1次ポンプ修繕 ・電力量計取替修繕 				
区分	拡充				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和7年度
II 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
8 世界のふくいファンを拡大				事業開始年度	令和5年度
海外展示会出展支援事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	海外展示会等への出展経費に対する補助を通して出展を後押しすることにより、県内企業に海外バイヤーとの商談の機会を提供し、海外への販路開拓にチャレンジする県内企業を支援する。				
事業内容	海外展示会等への出展支援 ・海外展示会・商談会等に出展を希望する県内企業に対し、出展経費を支援 補助率：1/2 補助上限額：30万円 ただし、3社以上の企業グループでの出展の場合、上限額120万円				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,783	－			2,783
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	新規輸出件数（件）	80		令和7年度
	活動指標	商談件数（件）	80		令和7年度
事業評価	<p>県内企業の海外展示会等への出展を支援することで、商談につなげることができた。新規輸出件数は集計中だが、令和7年12月末時点で38件であり、目標を達成する見込み。商談件数は集計中だが、令和7年12月末時点で167件であり、現時点で目標を達成。成果指標および活動指標については、令和8年6月確定予定</p> <p><事業実績> 支援企業数：8社（3社の企業グループ1件、個社5件）</p>				
区分	完了				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和7年度
II 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
8 世界のふくいファンを拡大				事業開始年度	令和7年度
海外販路開拓事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	県内事業者の輸出を拡大していくため、海外にネットワークを有する機関の助言を受けたマッチング等を行うとともに、効果的な支援の方策について検討する。				
事業内容	(1) 在日フランス商工会議所（CCIFJ）との連携による欧州企業との商談・マッチング ○海外販路開拓コーディネーターとなる人材を選任 県内ものづくりの各企業に対する助言や商談先の斡旋等を行い、欧州企業との商談・技術連携マッチングを創出 (2) 海外展開支援施策の在り方検討 ○検討委員会の開催 ○県内企業等へのアンケート調査等の実施				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	9,137	－	4,028		5,109
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	欧州企業とのマッチング件数（件）	3	3	令和7年度
	活動指標	欧州企業とのマッチングに向けた支援件数（件）	6	17	令和7年度
事業評価	CCIFJと連携することで、県内企業と欧州企業とのマッチングを創出することができた。 <事業実績> CCIFJとの連携により創出した県内企業と欧州企業とのマッチング件数：3件 CCIFJとの連携により支援した県内企業数：17社 （ネットワーキングイベント参加企業数：13社、個別サポート利用企業数：4社）				
区分	完了				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和 8年度
II 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
7 未来志向型の産業革新				事業開始年度	令和 7年度
越前焼・越前陶芸村魅力向上プロジェクト				事業終了年度	令和 7年度
事業目的	越前焼の振興と陶芸村の在り方について検討委員会でプロジェクトを策定し、包括的な取組みを実施する				
事業内容	越前焼の振興および越前陶芸村の活用等に関する検討委員会の開催 ① 産業振興・産業観光といった幅広い視点で有識者や事業者と議論を展開 産業振興：ブランド力向上のため、事業者の越前焼陶芸家としての意識の共有策とともにアート作品の拡大や伝統的越前焼の明確化、伝統技術の保存・アピール方法等を検討 ：陶芸館の活用、研究コーディネータや研究員拡充の必要性等の検討 産業観光：町施設との連携、アーティスト滞在の促進、既存アートの活用策等の検討 ② 陶芸村全体の現状・課題の把握や活用についての検討に必要な専門的調査の実施 現況調査：陶芸村内の人の流れ、地域における役割、産業へどのように寄与しているか、越前焼の魅力が伝わっているか等の検証 敷地分析：陶芸村の外（県内伝統工芸産地、観光地等）からの人の流れ、来場者の目的等の整理				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	17,632	－	8,816		8,816
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	基本構想策定	－	－	令和7年度
	活動指標	検討委員会開催回数	4	4	令和7年度
事業評価	目標どおり検討委員会を開催し、基本構想策定につなげた。 基本構想は、R8.9策定予定				
区分	完了				

		産業労働部	商業・市場開拓課	事業年度	令和7年度
II 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
7 未来志向型の産業革新				事業開始年度	令和7年度
ふくいの伝統工芸産地魅せる化実現事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	本県が誇る伝統工芸産地の職人が一堂に会し、誰もが気軽に伝統工芸に触れることができるイベントの開催と産地ごとに異なる課題や社会のニーズに対応した新たなプロモーションにより、県民一人ひとりが伝統工芸産地の魅力について再発見し国内外への発信力を高め、さらなる産業振興および誘客促進を図る。				
事業内容	産地集結「伝統工芸フェス」開催 県内の伝統工芸産地が集結し、職人による実演や伝統工芸品の展示販売等を行う伝統工芸イベントを合同で開催し、県民の関心や理解を高めるとともに、産業観光イベントとして県外への発信を強化する。 ※文化庁主催「日本の技フェア」および県生涯学習・文化財課との共催「福井お宝博」として開催				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,727	－			1,727
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	伝統工芸産地の入込数 (延べ)	47万人		令和7年度
	活動指標	伝統工芸フェス来場者数	2,500人	3,500人	令和7年度
事業評価	7つの国指定の伝統的工芸品および県指定の3つの郷土工芸品の展示販売、ワークショップやステージでのトークイベントを展開し、文化庁の「日本の技フェア」との同時開催により、全国から集結した職人や県内外からの来場者に、福井県の伝統工芸の魅力を発信するとともに、全国の職人同士の交流が図られた。 成果指標については、R8.4月確定予定				
区分	完了				